学校番号	１０１

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	（学）情報演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	30 時間でマスター　Web デザイン						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題解決やデータサイエンス、Ｗｅｂデザインを中心とした IT 関連のスキルアップ目的として開講しています。実技やグループワーク、フィールドワークがメインの授業となり、授業内で毎時間課題が課されますので、意欲的に出席することを望みます。

2　学習の到達目標

情報に関する多角的な見方・考え方を働かせ、Ｗｅｂデザイン技術を修得し、活用できる力、情報社会に主体的に参画するための資質・能力の向上のため次のとおり育成することをめざす。
１.(知識･技能)HTML(とくに CSS の活用)でホームページを作成できる。illustrator や Photoshop など専門的なソフトウェアを活用した画像編集ができる。データの収集分析をして整理し、まとめることができる。
２．（思考・判断・表現）さまざまな問題に対して目を向け表現することできる。各種コンテンツを活用してより伝わる工夫をすることができる。データを観察して適切に判断できる。データの統計量や可視化した結果をもとにデータの特徴を適切に表現し伝えることができる。
３．（学びに向かう人間性）HTML(CSS)、グラフィックソフトウェアを活用し、現代における情報技術について触れることで主体的に創作活動に取り組む。さまざまな統計データを調査およびフィールドワークで調査活動に主体的に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・HTML（CSS）を活用してホームページを構築できる。 ・コンピュータグラフィックについて全般的な知識・技能の獲得がでる。 ・データサイエンスを活用した問題解決について、ソフトウェアや統計データを活用して整理することができる。	・HTML タグ、スタイルシートを場面に応じて判断し、使い分けることができる。 ・コンピュータグラフィックで表現することができる。 ・さまざまなデータを観察、分析する。また、結果をもとにデータの特徴を表現することができる。	・HTML において、ただ書き写すだけではなく、なぜそうなっているのか、試行したり改善したりしようとする態度 ・グラフィックソフトウェアを用いてより伝わるコンテンツを作成しようとしているか。 統計データやフィールドワーク調査活動をもとに問題解決を主体的にグループ活動の中で取り組んでいるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	データサイエンス	統計 データの収集・分析 グラフの作成	a:データ収集におけるバイアスの概念や誤差について理解しているか。（政府）統計データ などを適切に取得することができる。 b: 取得したデータをもとに分析することができる。分析結果をもとに発表することができる。 c:自ら仮説を立て、データの分析をしようとしている。 フィールドワークなどで調査活動に参加する態度。	課題提出	データ分析の過程および結果、発表	仮説と検証結果
1学期 2学期	HTML	HTML について基本を学ぶ。CSS を用いたデザイン技術の習得	a:HTML の基本を理解し、ホームページを作成することができる。 b:適切なタグを選択し基本処理を実行することができる。 c:さまざまなタグを組み合わせて自由に作品を表現しようとする態度。	課題提出	課題・作品提出	課題提出や自由制作課題の提出
2学期	グラフィック	グラフィックソフトウェアの技術習得 Photoshop(または illustrator)などのソフトウェアを使用し、作品を作成してく	a:グラフィックソフトウェアの基本を学び、ソフトウェアを使用することができる。 b:ソフトウェアの違いや特徴・長所について理解し表現することができる。 c:さまざまな機能を活用してクリエイティブな作品をつくることができる。	課題、成果物	課題、成果物	成果物
3学期	問題解決	川高プロジェクト 学校や学校周辺に起きている問題などに目を向け、施設・設備、校則、行事、授業などの問題点や改善点を検討し、関係各所と連携しながら改善策や要望を発表する	a:プレゼンテーションソフトウェアの効果的な操作ができる。 b: 伝えたい内容をわかりやすく伝えるための話の流れを考え、資料作成の工夫ができる。 c:準備と発表に主体的に取り組もうとしている。BS でアイデアを出すことができる。他の発表の改善点を主体的に提案しようとしている。	発表資料	考えたアイデア、発表（プレゼン）	相互評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度